

林業普及指導員としての社会貢献活動

～木育パパサークル あきた木木遊び隊～

秋田県仙北地域振興局農林部森づくり推進課 主任 千葉 智晴

1 はじめに（課題を取り上げた背景）

[パパサークルから「木育」の普及を]

子育て世代が森と木を楽しむための木育プログラムを体験することにより、それぞれの家族・地域においても木育が根付き、豊かな感性を持つ子どもの成長と木材の需要拡大につながる活動となることを期待し、平成22年にパパ7名で「あきた木木遊び隊」を設立し、自ら事務局を務めている。

[あきた木木遊び隊の構成]秋田市と大仙市のパパ13名で構成（平成24年2月現在）。職業は歯科医、会社員、ピアノ調律師、裁判所職員、大学職員、医師会職員、保育士、市職員、県職員など。「笑い」、「語らい」、「茶化しあい」がモットー。

2 研究の方法及び経過

[しかけ]多彩なワークショップ（WS）を約2年間で15回開催。家族で楽しめ、笑顔が広がるようなWSとしている。チラシとWSタイトルは毎回、強い関心を引くように作り込んでいる。

①マイ箸づくりWS

「スギの細い角材をナイフで削る」、「紙やすりで磨く」、「蜜ろうそくを塗る」の3工程。設立時のきっかけになったワークショップであり、得意技である。

JAZZ イベントブース出展し、来場した親子へ箸づくりを普及指導している様子。マイ箸づくり体験者は約80人。ブースへの来場者は約300人と大盛況であった。（平成22年9月、千秋公園）



②森林環境教育的WS

由利本荘市赤田の篤志家が所有している里山に接した民家を借り、「きのこ植菌・収穫」、「炭づくり」、「植樹」、「育林」、「タケノコ採り」、「森のバームクーヘンづくり」などを実施。毎回親子6～10組程度が参加し、里山に親しむ活動を実施している。



シイタケ植菌体験に10組の親子が参加。ほだ木の穴開けや種駒の打ち込みを体験した。（平成22年4月、由利本荘市赤田）



植樹体験（写真：左上）に7組の親子が参加。イタヤカエデ、ヤマボウシなどの広葉樹植樹活動を体験した。粘性土が主体の土壌だったため、粉炭と灰による土壌改良作業も実施している。（平成22年10月、由利本荘市赤田）



タケノコ採り（写真：左下）と炭の窯出し体験（写真：右）に13組の親子が参加。子ども達は大きなタケノコに歓声をあげ、パパたちは白炭の窯出し作業に汗だくで悲鳴！？をあげながらの活動（平成23年6月、由利本荘市赤田）

③木育的WS

冬期間は、子連れの野外活動は難しいため、室内でのものづくり活動を実施している。ミニ門松づくりやイスづくりは県内産の材料を活用しやすいため、恒例の活動となっている。キットを組み立てるだけはあるが、紙やすりや木工ボンドの知識、げんのう、金槌の使い方など、道具類の使用方法への理解を高められる。



ミニ門松づくり（写真：左）は、県内産の松葉と青竹を、秋田スギのイスづくり（写真：上）も、県内産の秋田スギの間伐材を活用したものである。ものづくりだけではなく、木材利用の意義も柔らかく伝えるようにしている。

（平成22年11月～12月、秋田市 クローバーデンタル）



木育に特化したイベント「モクフェス」の開催状況。12組が参加し、「木製品に触れる+木製品を作る」をテーマにスギ板の積み木（写真：左上）、木育おもちゃ、木製自転車（写真：右上）、イスづくりなど多彩なメニューで楽しんだ。積み木に夢中になる子、木製自転車で走り回る子、イスづくりをパパと一緒に体験する子など、参加家族それぞれの個性を感じることができた。（平成24年1月、秋田市プラザクリプトン）

（ワークショップ活動一覧）

回数	日時	場所	タイトル	内容	参加者数
vol.1	H22.4.24	由利本荘市赤田	きのこnoこワークショップ	しいたけ植菌、炭窯見学	20人
vol.2	H22.7.25	由利本荘市赤田	炭zumiワークショップ	化粧炭づくり、炭火BBQ、ほだ木運搬	23人
vol.3	H22.9.18-19	秋田市千秋公園	もくもくステーション	マイ箸づくり、木育おもちゃと絵本、パネル展	約300人来場
vol.4	H22.10.17	由利本荘市赤田	もくもく植樹祭 feat. 鍋っこ	広葉樹植樹、きのこ汁	16人
vol.5	H22.11.23	秋田市クローバーデンタル	君の椅子なんかいっすなあ	秋田スギのイスづくり	30人
vol.6	H22.12.26	秋田市クローバーデンタル	ミニ門松づくり	ミニ門松づくり	36人
vol.7	H23.4.10	秋田市クローバーデンタル	木育おもちゃなう	木のおもちゃ体験	26人
vol.8	H23.6.5	由利本荘市赤田	.里山ワークショップ feat. 妄想…	モウソウダケ収穫、白炭の窯出し体験、育樹作業	28人
vol.9	H23.7.9	北秋田市北欧の杜	もくもくステーション	マイ箸づくり、木育おもちゃと絵本、パネル展	約150人来場
vol.10	H23.9.3-4	秋田市千秋公園	もくもくステーション	マイ箸づくり、木育おもちゃと絵本、パネル展	約300人来場
vol.11	H23.10.16	由利本荘市赤田	シイタケマツリ1	しいたけ収穫、炭火BBQ	20人

vol. 12	H23. 10. 22	にかほ市象潟霊峰公園	鳥海山ブナ植樹ツアー	ブナ植樹（ブナを植える会）	11人
vol. 13	H23. 10. 30	由利本荘市赤田	シイタケマツリ 2	しいたけ収穫、森のバームクーヘンづくり	18人
vol. 14	H23. 12. 23	秋田市ブラザクリプトン	ミニ門松づくり	ミニ門松づくり	27人
vol. 15	H24. 1. 21	秋田市ブラザクリプトン	モクフェス	木育玩具・積み木体験、イスづくり、講演会	34人
vol. 16	H24. 2. 17-19	滋賀県大津市	もくもくステーション	マイ箸づくり、木育おもちゃと絵本、パネル展	200人

*共通タイトルは、「もくもくワークショップ vol. ○○」。これとは別に、活動内容を考慮し、楽しさが伝わるように遊び心を入れてメインタイトルをつけている。

(ワークショップのチラシサンプル)

入場無料 もくもくワークショップ Vol.10
千秋公園 Jazz Impression とのコラボレーション活動です。

Jazz イベント会場内で、親子で木に触れ、木で遊び、木のぬくもりを知っていただく活動です。スギの箸づくり、木のおもちゃの話、子どもや家族の話、美味しい話などで交流を深め、参加者同士で盛り上がりましょう!

◆ 日時 9/3(土) 4日
◆ 会場 千秋公園二の丸
● 秋田杉のマイ箸づくり体験
● 木育おもちゃ体験
● いわむらかすおの絵本展示
● もくもく活動パネル展示
● わたがし(募金有)

◆今後のスケジュール◆
9月 活動未定
10月上旬~中旬 シイタケ収穫祭
10月22日(土) バスで行く! 鳥海山ブナ植樹祭

11月以降は、冬眠せずに、室内活動(木工などのワークショップ)を実施予定です。
みなさま、今後も、「もくもく隊」をご帰園におねがいいたします!

キーワード
木育
パパサークル
笑顔

主催者 **あきた木遊び隊**
mail:akitamokumoku@gmail.com (事務局 千葉)
URL:http://akimoku.exblog.jp/

この活動は秋田県水と緑の森づくり税による補助金をいただいて実施する活動です。活動状況の撮影、撮影写真のblog等への掲載及びパネル展への使用、報道機関等の取材についてご協力をお願いします。

もくもくワークショップ vol.11
シイタケマツリ

●開催日時 平成23年10月16日(日)
●募集人数 30人程度
●対象 もくもく会員又は子育て中の親子
●参加費 500円
●開催場所 由利本荘市赤田(高野邸敷地内)

◆時間割◆
10:00- オリエンテーション
10:10- 近況報告
10:30- 椎茸収穫
11:00- BBQ、スープカレーづくり
13:30- 後片付け＆ふりかえり

【お申し込みのお願い】
お申し込みは、お申し込みの用紙をダウンロードし、お申し込みの用紙に必要事項を記入し、お申し込みの用紙を封筒に入れてお申し込みください。お申し込みの用紙は、お申し込みの用紙の裏面に記載の住所に送付してください。

◎お問い合わせ(申し込み先)
パパサークル あきた木遊び隊
akitamokumoku@gmail.com(事務局千葉)
お申し込みの際は、参加者お名前、メールアドレス、電話番号をお伝えください。

ご利用するものは、エプロンまたは前掛けをご用意ください。
※お願い※
この活動は秋田県水と緑の森づくり税による補助金をいただいて実施する活動ですので、活動状況の撮影、撮影写真の広報やブログ等への掲載、報道機関の取材についてご理解をお願いします。

3 研究の結果

[パパへの効果]組織立ち上げ時から参画しているパパは、マイ箸づくりや木のイスづくりで教える側になり、森林や木材に高い関心・理解を示す木育パパ(イクメンに対抗し、「もくメン」)へ成長している。これは期待どおりの効果であるが、中には、能代市の「木の市」に出かけて天板を購入し、自らテーブル製作に取り組むパパ、「家を建てるなら地域の木材で!」と宣言するパパもおり、期待以上の効果も上がっている。

[子どもへの効果]活動を始めて2年と浅いことや、まだ多くの子どもが幼児ということもあり、木のおもちゃや積み木が大好きで夢中で遊んではいれるが、効果を感じ取れるレベルではない。親としても、あまり誘導的なことは言いたくないため、子どもたちの理解力が高ま

り、自ら興味を持ってくれるような年齢になるまで効果の有無を見守っていきたい。

[活動の波及性]男女共同参画関係、子育て支援団体関係者からは、ユニークなパパサークルがあるということで注目されている。パパサークルという活動自体が、「ママ側の独り時間の確保」や「自然を活かした子どもとの遊び」などの面で子育てを応援する活動と受け止められ、当初、想定していなかった、「社会貢献活動」というかたちで認識されている。

4 考察

木育に「関心を持つ or 関心を持ってくれそうな層」の子育て世代へ絞り込み、楽しみながら実施する継続的な普及活動は、当然ながら効果が高いと考える。多くの子育て世代は”木の消費”を担う世代でもあり、森と木に対して理解が深まることにより、県産材製品の購入、県産材活用住宅の建築など木材の実需が高く期待されることから、今後もサークルのパパ達と「木育」をキーとして、子どもの成長も含め、家族で楽しみながら、森と木を応援する人の輪が広がるように活動を盛り上げたい。

[第1回ファザリング全国フォーラム in しがへのブース出展状況]



パパサークルの全国大会的な行事「ファザリング全国フォーラム」へ東北地方からは唯一のブース出展。得意技のマイ箸づくり、木のおもちゃ&積み木、木製自転車試乗体験などの活動により、秋田スタイルの「木育」と「笑顔」を売り込んできました。二日間とも大賑わい！